



佐世保市立中里中学校
学校だより No. 37
発行日 R5. 1. 31
発行者 眞弓 健一

志

～今よりももう一歩先へ～

【校訓】 自主・実践・創造
【学校教育目標】
学び合い、磨き合い、鍛え合う生徒の育成
中里中ホームページ



仕事は誰かの役に立つこと～私たちは誰かの仕事に助けられて生きている～

前号で「なぜ僕らは働くのか」(池上彰 監修 学研プラス発行)という本を紹介しました。今回も、その本の内容を一部抜粋して紹介します。

人間は助け合って生きています。**私たちが生活をするとき、そこには必ず人と人のつながり合い、助け合いがあります。**現代社会に生きる私たちは、自分ですべてのことをするわけではありません。何かやりたいことや困ったことがあったときに、自分ではできないこと、労力や時間を割けないことを、**他の人がする“仕事”に助けてもらう。**こうした、仕事による助け合いのネットワークの中で、私たちは生きているのです。

たとえば隣町へ行きたい場合。徒歩でも移動できるかもしれませんが、バスや電車を使えば早く、疲れずに目的地にたどり着けます。バスや電車を運転する仕事、運行する会社があるから、私たちはそれらを利用できます。

たとえば髪が伸びた場合。伸びっぱなしでも死にはしませんが、きれいに髪をカットしてもらえるとスッキリします。美容師の仕事が私たちの気分を良くしてくれるのです。

いろいろな仕事の共通点はなんだろうという視点で世の中を見てみると、「**どんな仕事でも誰かの役に立っている」「誰かにとって必要なもの・ことが、社会の中で仕事として存在している」**とういことがわかります。

「なぜ僕らは働くのか？」その答えの1つは、「**助け合いでつくられるこの社会の一員になるため**」です。社会の中で助けられるだけでなく、自分も自分ができることをして**誰かの役に立つ、社会に貢献する、それが私たち一人一人のすべきこと**なのです。「自分なんて誰の役にも立てないのでは…」などと、不安に思う必要はありません。**しっかりと自分の将来を考えて生きていけば、必要とされる場所は誰にだって必ず見つけられます。**

学校で行う生徒会活動や係活動は、社会に出る訓練の場と捉えることができます。それらの仕事を果たすことによって、皆が円滑な学校生活を送ることができているからです。そして、生徒一人一人は学級や学校に必要なかけがえのない人材なのです。

また、そのことを教え、導いてくれているのが学校の先生です。先生方は勉強の他、社会のルールなどを教えてくれます。親ではないからこそできる教育があるため、教師という仕事が成立しています。**教師という職業もやりがいのある魅力的な仕事です。**

【2月行事予定】

- 1日(水) 公立高校前期選抜検査
3年生弁当の日
- 2日(木) 2年生思春期教室
- 8日(水) タイピングコンテスト
- 14日(火) 15日(水) 1・2年実力テスト
- 19日(日) 家庭の日、ノ一部活動デー
- 22日(水) PTA 評議員会
- 28日(火) 1・2年生授業参観・懇談会

【1年生読み聞かせ会】

1月27日(金)の朝の時間から、学校司書の山口先生による読み聞かせ会を始めました。第1回目は1年4組で行いました。

今後、山口先生と調整をしながら、学級をかえて開催していく予定です。楽しみにしてください。